

結婚仲介のアルパ

会員外に「プチお見合い」拡大

結婚仲介事業のアルパ（東京都港区）は、会員外でも参加できる「プチお見合いパーティー」をスタートした。今年1月から月1回のペースで試験的に開催してきたが、参加希望者が多いことから、毎週土曜日に定期的に開催することにした。

男女を問わず非婚率が年々高まり、とくに都市部でその傾向が強い。一方で「婚活」という言葉が定着するほどに、結婚を目的に前向きに活動する動きもみられる。

アルパはこうした傾向を踏まえ、結婚情報サービスへの理解を促すために、会費を支払えば会員外でも参加できるパーティーの定期開催を決めた。

このパーティーはホームページを通じて参加者を募集するが、年齢や年収など一定の要件を満たす必要がある。主に個室のあるレストランを会場に、男女各5人の少人数で開催する。会費は男性8000円、女性6000円。希望すれば事前に洋服のコ

ーディネートやメイクアップのアドバイスなども受けられる。

参加者は異性の全員と個別に

15分の会話ができる仕組みになっており、一般的なパーティーにみられる誰とも会話できないといったことが起きないように

小山礼子社長「交際相談に気配り」



——起業のきっかけは

「飲食店などを手広く展開している経営者が4年前に創業したこの会社を、2年前に買い取った。だから厳密に言えば起業ではない。経営不振ではなく、業務運営に予想以上に人手と手間がかかるため売買の話が持ち上がった」

——結婚仲介会社の競争が激化しているようだ

「大手は多数の会員を有してデータマッチングを中心としている。当社の会員数は常時100人程度と少ないが、提携している結婚相談所からの紹介もある。交際段階の悩み相談などに

している。

同社によると、男女各20人程度のパーティーよりも、カップル誕生の確率が高くなる傾向もみられるという。

同社ではお見合いパーティーを通じ、結構情報サービスへの理解を深めてもらい、真剣に結婚相手を探す男女を支援していく考えだ。

きめ細かく対応して、交際が自然消滅しないように気配りできるのが強み。社長の私自身が婚活中の女性と年齢が近く、相談にも乗れるし、ベテランの相談員もいるので多様なアドバイスができると思っている。年間では会員の10~20%が結婚している」

——会員の年齢層や職業は

「男性は30代後半から40代前半、女性は30代前半から40代前半が多い。男性は経営者、弁護士など社会的地位の高い人が多く、年収の中心は700万円前後。女性は短大卒以上で働いている人が多い。独身経営者のために創業した経緯から自然とそうなった」

（財川典男）